

陸・海にまたがる51年の技術と実績が、21世紀の土台づくりを支えます。

弊社では、自主開発した技術が皆さまにお役に立てば、という考えから自社技術や資材のリースを行っております。

これらの技術は単にケーソン製作工事に止まらず、土木・建設の各現場で安全性の向上・作業効率向上などの効果を発揮いたします。

49年間培ってきた技術が幅広く活かされることは、私たちの望むところでもあります。



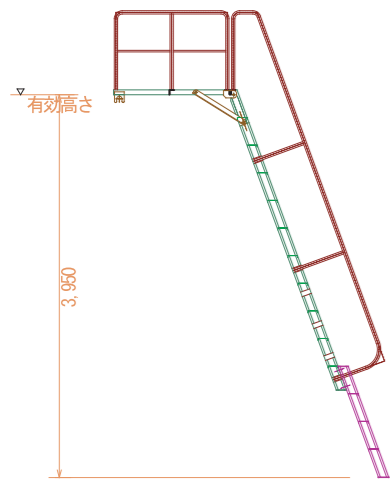
KSタラップ 特許 NETIS

ケーソンは構造上、鉄筋組立時にマスになる部分が鉄筋の壁(壁鉄筋)で仕切られてしまいます。

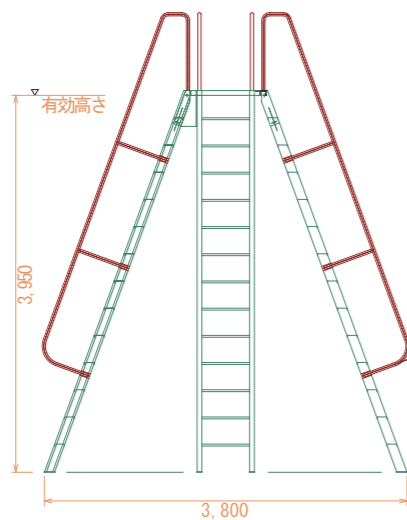
KSタラップは隔壁の4交差部縦鉄筋箇所を設置し、昇降して両隣および対角側の3方向に移動できます。

施工時の作業者の安全確保、製品品質および作業性の向上を図ることができる鉄筋構造物の施工方法、並びにこの方法実施に適した安全かつ組立・分解可能で、設置作業を簡単かつ迅速に行なえる昇降式タラップ(KSタラップ)です。

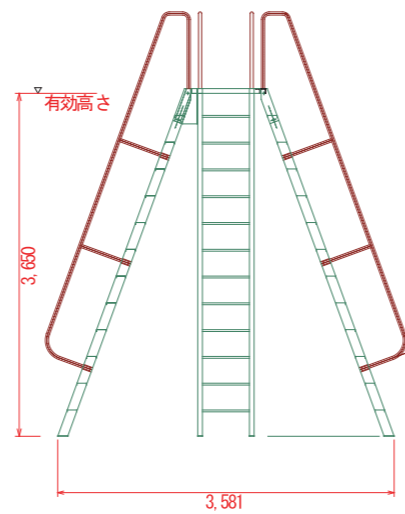
1方向タイプ



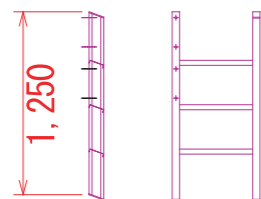
4方向タイプ I



4方向タイプ II



4方向タイプ I II 補助ステップ



※有効高さが補助ステップ取付で665mm高くなる。

KSタラップ設置手順

予めKSタラップを陸上で組立ておきます。(必要な分だけ)

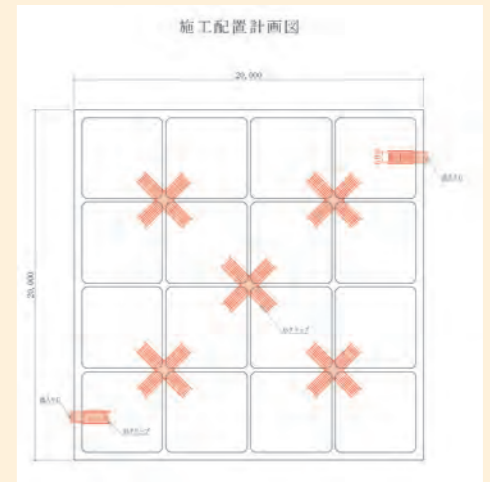
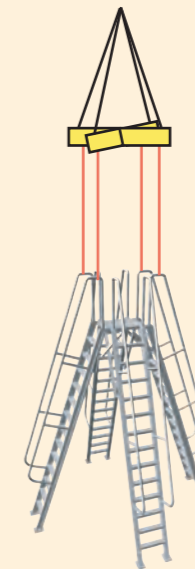


設置順序

- 1本方向KSタラップを設置し、出入り口を確保してから順序よく4本方向KSタラップを設置する。
- 1本方向KSタラップを設置
- 1本方向KSタラップはH=4.0mが基本なので設置場所を決め高さを決める。決めた高さの所にビティ間に単管パイプを平行にクランプで設置する。その時ブレース等の取り外し後の手摺(転落防止)をもうける。
- 1本方向KSタラップを設置する。



- 4本方向KSタラップを設置
- 躯体鉄筋配筋後設置予定マスの隔壁に4本方向KSタラップを設置撤去時を考えて配置計画を立てる。



陸・海にまたがる51年の技術と実績が、 21世紀の土台づくりを支えます。

弊社では、自主開発した技術が皆さまにお役に立てば、という考えから自社技術や資材のリースを行っております。

これらの技術は単にケーソン製作工事に止まらず、土木・建設の各現場で安全性の向上・作業効率向上などの効果を発揮いたします。

49年間培ってきた技術が幅広く活かされることは、私たちの望むところでもあります。



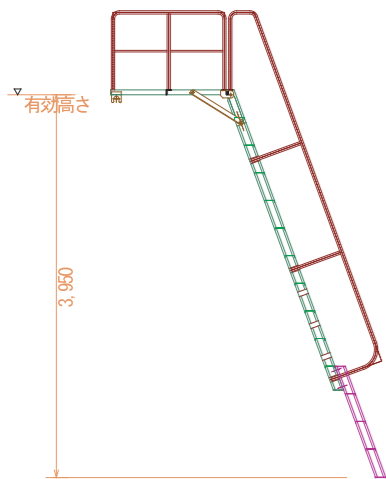
KSトラップ 特許 NETIS

ケーソンは構造上、鉄筋組立時にマスになる部分が鉄筋の壁(壁鉄筋)で仕切られてしまいます。

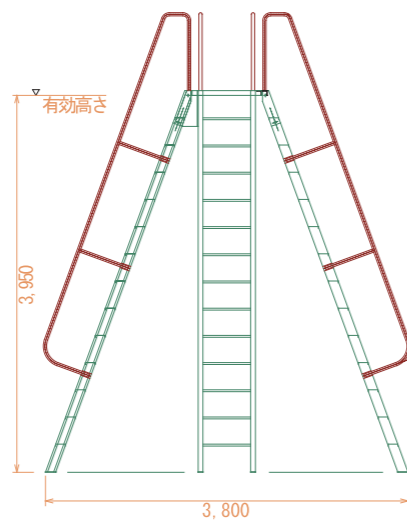
KSトラップは隔壁の4交差部縦鉄筋箇所を設置し、昇降して両隣および対角側の3方向に移動できます。

施工時の作業者の安全確保、製品品質および作業性の向上を図ることができる鉄筋構造物の施工方法、並びにこの方法実施に適した安全かつ組立・分解可能で、設置作業を簡単かつ迅速に行なえる昇降式トラップ(KSトラップ)です。

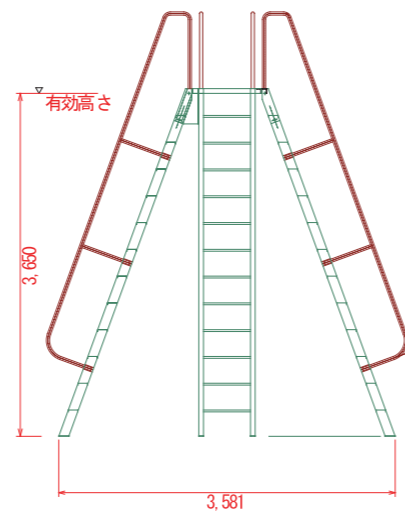
1方向タイプ



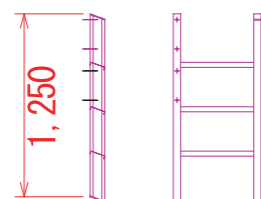
4方向タイプ I



4方向タイプ II



4方向タイプ I II 補助ステップ



※有効高さが補助ステップ
取付で665mm高くなる。

KSトラップ設置手順

予めKSトラップを陸上で組立ておきます。(必要な分だけ)



設置順序

- 1 本方向KSトラップを設置し、出入り口を確保してから順序よく4本方向KSトラップを設置する。
- 1 本方向KSトラップを設置
- 1 本方向KSトラップはH=4.0mが基本なので設置場所を決め高さを決める。
- 決めた高さをの所にビティ間に単管パイプを平行にクランプで設置する。
- その時ブレース等の取り外し後の手摺(転落防止)をもうける。
- 1 本方向KSトラップを設置する。



4本方向KSトラップを設置

躯体鉄筋配筋後設置予定マスの隔壁に4本方向KSトラップを設置撤去時を考えて配置計画を立てる。

